

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-----------------|----|-------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス かけはし | | |
| ○保護者評価実施期間 | R6年10月26日 | | ～ R6年11月22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 13 |
| ○従業者評価実施期間 | R6年10月26日 | | ～ R6年11月 9日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R6年12月14日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 非正規職員は子育て経験者が多い。 正社員が未経験なことを非正規職員の経験から学ぶことがある。 | 情報共有をするため利用児童が来所する前にミーティングを行っている。 | スキルアップ研修や勉強会を開くなどの企画する。 |
| 2 | 保護者の要望やニーズに合わせた対応が出来る。 | 長期休暇中は、お昼のお弁当購入や利用児童の将来のために買い物実習などを行っている。 | 利用児童が将来一人でもできることを増やしていけるよう、モニタリング時にしてほしいことや経験してほしいことをお聞きし、職員で案を出し実践していく。 |
| 3 | 長期休暇中のレクリエーションが豊富。 | 長期休暇では、外出場所がパターン化しないように新しい所を探している。また、同じ曜日ばかり引率代や材料費がかからないように工夫している。 | 地域交流もできるよう、地域のイベントやお祭りに参加していく。 外出だけでなく、室内でも過ごせる時間を作っていけるように活動内容を考えていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 男性職員が入職しない。 | 給料面の低さや、保育士、教員免許を持っている人が不足していることが挙げられる。 | 現在職員が足りているが、今後職員が足りなくなった場合、インスタグラムや求人広告で職員募集の掲示を行う。 |
| 2 | 正規職員と非正規職員が全員集まり研修をすることが出来ない。 | 正規職員と非正規職員の出勤時間が異なるため。別日に研修をすることで情報の差が生まれる可能性がある。 | 長期休暇以外の平日、非正規職員に出勤していただき全員で研修を行う。 |
| 3 | 専門的スタッフがいない。 | 音楽療法や作業療法士などの専門的なスタッフがいないため、活動内容の幅が狭い。 | 今後職員募集の掲示をするときは、専門的な職員の募集をかける。 専門的スタッフがなくても、在職しているスタッフ全員で案を出し合い活動の幅を広げていく。 |